

別紙振興管理表

(1) 都市と農村の交流及び安らぎの場の提供事業（公益目的事業1）

方針	施策の内容	目標項目	年度	目標	達成度	実績等
より快適で利用しやすい施設への改修と整備 方針3	魅力ある植栽エリアへリニューアル	実施件数	元年度	サマースノーガーデン	B	整備区域を再検討した結果、エリア集中改修が効率的であるためファンタジーガーデンを整備した。生垣の更新とともに園路改修及び休憩所改修が完了した。
			2年度	ティンクルガーデン	C	新型コロナの影響による予算上の都合により、次年度以降に持ち越し、次年度以降の改修計画案の作成を完了した。
			3年度	スプリングガーデン	C	R元年度改修予定だったサマースノーガーデンについて、植栽の一部を整理した。R2年度改修予定だったティンクルガーデンの改修基本計画を完了した。
			4年度	ムーンライトウォーク		
			5年度	テラスガーデン		
	トイレの洋式化の推進	実施件数	元年度	5穴改修	B	フローラルプレイス改修工事で、トイレの洋式化5穴が完了した。
			2年度	調査・設計	B	設計業務委託を実施した。
			3年度	5穴改修	A	園内全てのトイレの洋式化を前倒し実施し完了した。
			4年度	10穴改修		
			5年度	10穴改修		
	歩きやすく安全な園路への改修	達成状況	元年度	園路改修 ファンタジーG	A	ファンタジーガーデン園路改修とギボウシ園園路の改修が完了した。
			2年度	園路改修 ヨーロッパG	A	ヨーロッパ風お花畑及び風の丘園路改修を実施した。
			3年度	段差調査 対策方針	B	デンパーク館裏入口の段差解消を検討した。
			4年度	段差解消		
			5年度	段差解消		
	誰にでも分かりやすい園内の案内表示	達成状況	元年度	多言語案内 マップ試作	B	4カ国語5言語（英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語・ポルトガル語）に対応した園内マップを試作した。
			2年度	多言語マップ 仕上配付	B	4カ国語5言語（英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語・ポルトガル語）に対応した園内マップを正面ゲート及び東ゲートで配付した。
			3年度	園内案内 アプリ導入	B	案内看板（7か所）の内容を見直し、分かりやすい表示に前倒しにて更新した。また、園内アプリ導入に向け他施設の動向を調査した。
			4年度	案内板更新 3か所		
			5年度	案内板更新 4か所		

施設や設備の充実 方針3	雨天・暑熱寒冷期でも楽しめる施設や設備の充実	達成状況	元年度	フローラル改修	B	関係機関と調整し、予定通りフローラルプレイスの改修が完了した。。
			2年度	フローラル空調管理基準施行	A	・フローラルプレイス空調管理基準を作成した。 ・ジャブジャブ池周辺に暑熱対策のため、仮設のテント等を設置した。
			3年度	屋根付き施設の検討	B	・フローラルプレイス空調管理基準に従い実施した。 ・ジャブジャブ池周辺に暑熱対策のため、仮設のテント等を設置した。
			4年度	屋根付き施設市調整		
			5年度	実施要望周年記念対応		
	施設強化や設備充実に関する立案・提言	達成状況	元年度	中水配管ループ化要望	B	中水配管の機能強化案を市に提案し、市の実施計画に採択された。
			2年度	中水実施設計の支援	B	設計業務委託の実施した。
			3年度	道の駅あり方・検討	C	市が作成した道の駅リニューアル整備基本構想の見直しを支援した。
			4年度	道の駅存廃の提言		
			5年度	駐車場増設の提言		

(2) 都市と農村との交流の機会の提供事業

方針	施策の内容	目標項目	年度	目標	達成度	実績等
園内施設の更なる活用	幼児、児童向け体験プログラム及びイベントの実施（あそぼーね）	集客人数	元年度	480人	A	参加者総数1,422人 ※3/9（月）までの実績 ・体験プログラム ①ビッグブックでの読み聞かせ 23回115家族238人 ②お誕生月のお子さま手形無料サービス 117人 ・イベント ①パラシュートあそびの試行 参加人数4家族9人 ②冬のサービスフェア開催（2/5～2/29） 1,058人
			2年度	960人	C	新型コロナの感染防止対策として、入場制限や人との距離をとるよう運用を変更したため、体験プログラム及びイベントを中止した。
			3年度	960人	C	新型コロナの感染防止対策として、入場制限や人との距離をとる運用を継続したため、体験プログラム及びイベントを中止した。
			4年度	960人		
			5年度	960人		
方針1	恋人の聖地を活かした若者を引き寄せる企画	集客人数	元年度	企画立案	B	恋人の聖地を活かしたイベントを企画した。 バレンタインフェスタ（R3/2/6～14開催予定）
2年度			1,000人	A	1/30～2/14 バレンタインフェスティバルを開催した。入園者数16,999人	
3年度			1,000人	A	1/29～2/14 バレンタインフェスティバルを開催した。入園者数10,122人	
4年度			1,000人			
5年度			1,000人			
方針2	花とみどりに囲まれたエリアで期間限定の飲食ゾーン設置	集客人数	元年度	100人	B	12/21～23 ウィンターフェス期間中、花で装飾した花木園プラザに飲食エリアを設置し、キッチンカーにて飲食を提供した。3日間合計300人
2年度			100人	A	・あいち花マルシェの期間、フローラルプレイス内「カフェ&プロムスター」を花とみどりで装飾した。11/20～23 利用者数1,167人 ・ウィンターフェスティバルの期間、水のステージ前広場に光る机とイスを設置した。 12/5～1/17 5テーブル20席設置	
3年度			100人	A	フラワーマルシェinデンパーク（春：4/17～18、秋：10/23～24）において、水のステージ前広場に飲食ゾーンを展開した。10テーブル40席設置	
4年度			100人			
5年度			100人			

(3) 憩いと安らぎの機会の提供事業

方針	施策	目標項目	年度	目標	達成度	実績等
花とみどり 起点にした来園 者との交流  方針4	初心者向け園芸講座の実施と広報活動	講座数	元年度	計画・試行	C	初心者向けハイドロカルチャー講座を大温室内で企画した。試行は新型コロナ禍で中止した。
			2年度	1講座	B	地元農産物を使用したブリコラージュ教室を2日間（2/17～22）開催した。参加人数11人
			3年度	1講座	B	「初心者でも簡単 寄せ植え体験 ～手軽にお家をXmasデコ～」を（11/6）開催した。参加人数6人
			4年度	1講座		
			5年度	1講座		
	クリスマスガーデニングコンテストの開催	実施件数	元年度	企画・立案	B	開催に向けた企画を立案、開催時期をR2/12/5～25とし、コンテスト4部門を設定した。（クリスマスツリー部門、リース部門、ヒンメリ部門、コンテナガーデン部門）
			2年度	1回	B	クリスマスガーデニングコンテストを開催した。 12/2～27 応募総数11点
			3年度	1回	B	クリスマスガーデニングコンテストを開催した。 12/1～26 応募総数20点
			4年度	1回		
			5年度	1回		
	園内の植物ガイド実施	集客人数	元年度	検討・試行	A	植物ガイドツアーのメニューを全6種類、12回計画した。また従来方法の見直し（①集合看板の設置。②宣伝告知方法。③ガイド研修受講など）。コロナ禍で1回中止となり11回実施。延べ参加者は200人程度
			2年度	40人	B	内容の異なる植物ガイドを6回開催で計画したが、アジサイ、ハス、オニバスは新型コロナの感染防止対策で人を密集させないようにするため中止とした。1月と2月に新規の内容の植物ガイドを計画し、1日2回体制で行い、5つの内容の植物ガイドを7回開催した。参加人数42人
			3年度	40人	A	開催週を第3週目に固定し、日数及び内容の改善を行い26回開催した。参加人数165人、内リピーター37人だった。
			4年度	50人		
			5年度	60人		
	珍しい植物、話題性のある未公開の植物を展示	実施件数	元年度	計画	B	展示植物をリストアップし120種類を候補とした。各植物の見頃な時期に、温室内で順次公開予定。
			2年度	準備	A	初公開の3品種を含む50種類60回の展示を行った。
			3年度	5品種	B	初公開の5品種を含む41種類44回の展示を行った。
			4年度	5品種		
			5年度	5品種		
子どもを対象とした園芸講座及び教育プログラムの実施	実施件数	元年度	4回	B	全4講座を計画し、ハス（7月）、木の実（10月）、落ち葉（11月）3回実施した。春の花木（3月）はコロナ禍で中止した。	
		2年度	4回 継続	B	10月、11月、3月に3講座を開催した。8月に予定していた食虫植物の講座は、新型コロナの感染防止対策で人を密集させないようにするため中止した。	
		3年度	4回新規1回	A	ハス（7月）、食虫植物（8月）、木の実（10月）、落ち葉（11月）、春の花（3月）5回実施した。うち食虫植物は新規開催。	
		4年度	4回新規1回			
		5年度	4回新規1回			

(4) 農業をはじめとする産業振興に寄与するための機会を提供する事業

方針	施策	目標項目	年度	目標	達成度	実績等
地域の楽しさを紹介する場の提供	地域団体・企業と連携したイベントの開催	集客人数	元年度	3,000人	A	5/9 連合愛知三河西地区地域協議会メーデーフェスタ2019の開催した。 (参考：入園者数:4,252人)
			2年度	3,000人	C	5/16 開催予定のメーデーフェスタ2020は、新型コロナの影響により主催者からの中止の申し出があったため中止とした。
			3年度	3,000人	A	10/30～31 市と連携し、SDGs啓発イベント「やさしいくらしマルシェ」を開催した。 (参考：入園者数：9,241人) 3/13 市と連携し、「減災まちフェスタ」を開催した。(参考：入園者数：4,334人)
			4年度	3,000人		
			5年度	3,000人		
	地元農産物を使用した新しい体験教室の研究・実施	集客人数	元年度	50人	C	地元の大豆、米を使った「味噌仕込み体験」を2/23(日)に開催した。参加者47人
			2年度	50人	A	安城産のいちごを使用した「いちご大福作り体験教室」を2/20、21、23に開催した。参加者248人
			3年度	50人	A	・地元産の米粉を使用した「パンケーキ作り体験教室」を8/23に開催した。参加者42人 ・和泉手延べそうめんを使用した「流しそうめん体験」を7/17～8/29の間に21日開催した。参加者1,609人 ・安城産のいちごを使用した「いちご大福作り体験教室」を2/23、26～27、3/5～6に開催した。参加者192人 ・地元産の大豆、米を使用した「味噌仕込み体験」を2/7に開催した。参加者14人
			4年度	50人		
			5年度	50人		
	地元企業製品の展示会	集客人数	元年度	1,000人	B	5/18～19、12/14～15 三河日産による新車PR会を実施した。 (参考：4日間合計入園者数：16,079人)
			2年度	1,000人	B	10/17～18 名古屋トヨペットによる新車の展示会を実施した。 (参考：2日間合計入園者数：4,261人)
			3年度	1,000人	B	7/31～8/1 名古屋トヨペットによる新車の展示会を実施した。 (参考：2日間合計入園者数：2,800人)
			4年度	1,000人		
			5年度	1,000人		

(5) ~ (8) 植物の育成と研究事業

方針	施策	目標項目	年度	目標	達成度	実績等
花とみどりに関する情報発信 方針4	新品種育成の取り組みと植物の公開	実施件数	元年度	5品種	B	5品種を選定。矮性トレニア新色、タイタンピカス、ジニア新色、アイスチューリップ、八重咲きノースポールを植栽し公開した。
			2年度	5品種	B	春に2品種、夏に3品種、計5品種にラベルを設置し公開した。
			3年度	5品種	B	5種の新品種（ジギタリス、ヒマワリ、ペンタス、マリーゴールド、パンジー）を一年草花壇で植栽しラベルを設置し公開した。
			4年度	5品種		
			5年度	5品種		
	デンパークで使用実績のある優良品種をまとめ及び公開	達成状況	元年度	公開方法検討	B	優良樹木のリストアップは終了、公開する写真やフォーマットの整理を行う。
			2年度	樹木公開 1年草まとめ	C	公開予定の樹木写真などデータ作成が完了しなかったため、未公開となった。
			3年度	一年草公開 宿根草まとめ	B	園内ガイド参加者を対象に、優良品種を73品種紹介した。
			4年度	宿根草公開 球根まとめ		
			5年度	球根公開 冊子作製		

(9) ~ (10) 物品販売に関する事業

方針	施策	目標項目	年度	目標	達成度	実績等
屋外エリアの有効活用	既存施設・エリアを有効活用した集客力のあるイベントの開催	集客人数	元年度	40,000人	A	不思議の森にてディノランドを開催した。入場者数81,232人
			2年度	15,000人	A	不思議の森にてディノランドを開催した。入場者数46,178人
			3年度	15,000人	A	不思議の森にてディノランドを開催した。入場者数47,421人
			4年度	15,000人		
			5年度	15,000人		
方針1	ブランド力のある魅力的な商品の販売	販売額	元年度	13,000千円	A	デンパーク館にて企画展を開催し、展示会期間中は関連商品を販売した。 売上：14,788千円 ①企画展「アリスインサイエンスワールド」(4/1~7/1) 3,380千円 ②わくわく恐竜館(7/13~11/4) 5,507千円 ③企画展「猫のダヤン~ダヤンのなぞときミュージアム~」(11/9~R2/1/27) 5,901千円
2年度			13,000千円	A	デンパーク館及びフローラルプレイス内リュッケ広場にて企画展を開催し、展示会期間中は関連商品を販売した。 売上：19,838千円 ①企画展「恐竜3Dワールド」(6/1~11/8) 3,698千円 ②企画展「アルプスの少女ハイジ ウィンターフェスタ」(11/20~R3/1/17) 4,755千円 ③企画展「シルバニアファミリー ポップアップパーク in デンパーク」(2/3~3/8) 8,841千円 ④企画展「くまのがっこう 旅するジャッキーマーケット」(3/13~3/31) 2,544千円	
3年度			13,000千円	A	デンパーク館にて企画展を開催し、展示会期間中は関連商品を販売した。 売上：19,120千円 ①企画展「くまのがっこう 旅するジャッキーマーケット」(4/1~5/17) 6,382千円 ②企画展「花の宮廷画家ルドウーテの美しきバラと花々の世界」(5/22~7/12) 1,025千円 ③企画展「わくわく恐竜迷路」(7/17~11/8) 3,253千円 ④企画展「猫のダヤン~ダヤンのなぞときマルシェ~」(11/13~2/28) 4,780千円 ⑤企画展「シルバニアファミリー わくわく♪ピクニック」(3/12~3/31) 3,670千円	
4年度			13,000千円			
5年度			13,000千円			
方針5						

屋外エリアの有効活用 方針1 魅力ある物品および体験の販売	体験（コト）の販売	販売額	元年度	5,000千円	C	売上：4,218千円 ①「アリスインサイエンスワールド」（4/1～7/1）入場手数料 1,600千円 ②シャカシャカ発掘体験手数料 823千円 ③わくわく恐竜館（7/13～11/4）VR体験手数料 814千円 ④バンジー、アクアボール、アクアチューブ、パドルボート体験手数料 958千円 ⑤セグウェイパーク体験手数料 23千円
			2年度	5,000千円	C	売上：2,659千円 ①「恐竜3Dワールド」（6/1～11/8）入場手数料 1,327千円 ②シャカシャカ発掘体験手数料（3/14～3/31） 82千円 ③恐竜迷路手数料 153千円 ④バンジートランポリン、トランポリン、アクアボール・チューブ、パドルボート体験手数料 793千円 ⑤セグウェイパーク体験手数料 191千円 ⑥スラックライン体験手数料 113千円
			3年度	5,000千円	C	売上：4,739千円 ①バンジートランポリン、トランポリン、アクアチューブ、パドルボート体験手数料 1,685千円 ②セグウェイパーク体験手数料 125千円 ③スラックライン体験手数料 16千円 ④ふわふわ昆虫迷路入場手数料 149千円 ⑤わくわく恐竜迷路入場手数料 ※セット券含む 2,046千円 ⑥シャカシャカ発掘体験手数料 718千円
			4年度	5,000千円		
			5年度	5,000千円		
方針5	フローラルプレイス店舗再編による販売強化	販売額	元年度	企画・準備	B	プロジェクトチームに女性の意見を採り入れ、内装デザイン、ディスプレイ、商品構成を検討した。雑貨屋スムーク、カフェ&ブロムスター、体験工房ゴデイを新店舗として3/14（土）のオープンに合わせて開店準備をした。
			2年度	50,000千円	C	売上：34,780千円 ①雑貨屋スムーク 16,453千円 ②カフェ&ブロムスター ※植物販売含む 11,719千円 ③体験工房ゴデイ 6,608千円
			3年度	50,000千円	C	売上：46,667千円 ①雑貨屋スムーク 19,361千円 ②カフェ&ブロムスター ※植物販売含む 17,433千円 ③体験工房ゴデイ 9,873千円
			4年度	50,000千円		
			5年度	50,000千円		



屋外エリアの有効活用  方針1  魅力ある物品および体験の販売  方針5	飲食など新分野への取り組み	達成状況	元年度	研究	A	フローラルプレイス内の新規カフェ店「カフェ&プロムスター」の経営にあたり、安城ビジネスコンシェルジュに経営全般の相談や具体的なサポートを受ける。名古屋文理大学と連携してオリジナルメニューの開発を行った。
			2年度	方針	A	・協会初の飲食店舗「カフェ&プロムスター」を実質6月にオープンした。地元農産物を使ったデンパークオリジナルのデンバーガー、いちじくかき氷、いちごのクリームチーズタルトを販売した。 ・キャラクターの企画展とタイアップしたメニューも販売し、11,000千円売り上げた。 ・8/8に直営店B B Qガーデン「ピクニック」をオープンした。利用者数1,674人で、5,879千円売り上げた。
			3年度	市協議	A	・「カフェ&プロムスター」では、地元農産物を使ったスペシャルバーガー、ベーコンエッグバーガー、いちごのタルト、ほうじ茶かき氷、梨のかき氷、いちごのパフェを販売した。 ・キャラクターの企画展とタイアップしたメニューも販売し、16,269千円売り上げた。 ・B B Qガーデン「ピクニック」を1月及び2月以外の土日祝中心に営業した。利用者数3,734人で11,530千円売り上げた。
			4年度	協議継続		
			5年度	協議継続		

(11) ~ (12) 各事業を支える人材育成と業務改革

方針	施策	目標項目	年度	目標	達成度	実績等
人材育成と業務改革  方針6	マルチプレイヤーの育成	達成状況	元年度	業務履歴棚卸 育成計画立案	B	どのような事務があるのか把握するために、事務分掌を作成した。また、有益な人材を育てていくために、外部の資格研修を受講する参加者を選定した。
			2年度	業務標準体系化 標準化推進	B	同じ職場で経験年数が長くなり過ぎないように定期的に職場を異動をすることとし、異動の際は引継ぎ書を作成して業務を明確化した。
			3年度	関連業界の 情報収集	B	同じ職場で経験年数の長い職員が異動し、その際に引継ぎ書を作成した。業務に必要な資格研修の情報を収集した。
			4年度	対象企業 団体の絞り込み		
			5年度	交流と業務 及び事業への 反映		
	情報システム導入による業務の効率化及び標準化	達成状況	元年度	課題整理	B	チケット発券から売上集計まで一連業務のシステムについて、他施設で実績のある企業との打合せと価格調査を実施した。
			2年度	標準化・改善	B	チケット発券から売上集計まで一連業務のシステムについて、他施設で実績のある企業との打合せを行い、導入に向けて市と協議進めた。また、一部の施設でキャッシュレス決済を導入した。
			3年度	予算規模決定 システム発注	B	ラグーナテンボス等、他施設の業務システムの情報収集を実施した。
			4年度	本格運用		
			5年度	-		